

PowerAddress をご利用いただき誠にありがとうございます。ご利用の前に本書を必ずお読みください。

■目次

1. はじめに
2. 動作環境
3. 使用許諾契約書
4. インストール／アンインストール方法
5. 起動／終了方法
6. 基本的な使い方
7. お問い合わせ

最新情報や操作方法については、以下のページを参照してください。

PowerAddress - 製品サポートサイト

<http://poweraddress.powershift.jp>

PowerAddress Store - ライセンスキーの販売サイト

<https://poweraddress.jp>

FAQ (よくある質問と答え)

<http://poweraddress.powershift.jp/faq>

ヘルプ

<http://poweraddress.powershift.jp/help>

Powershift (パワーシフト)

<https://powershift.ne.jp>

Copyright © 2000 - 2018 Powershift All Rights Reserved.

1. はじめに

本製品は、個人情報管理のためのデータベースソフトです。国内外の連絡先や関連メモの管理、名簿印刷、宛名印刷などがご利用いただけます。

■試用期間中の制限事項

起動から30日間または起動回数30回までは、ほとんどの機能を無料で試すことができます。試用期間中の制限事項は以下のとおりです。

- レコードが15件を超過するとデータの編集や追加が制限されます
- エクスポートは、レコード作成順の上位3件までです
- バックアップファイルの書き出しは出来ません
- 宛名印刷を行うと印刷面に「Sample」という文字が表示されます
- 郵便番号データベースの使用は、ソフトを起動する毎に5回までです

■ご購入方法

継続して使用する場合は、ライセンスキー（パスワードのようなもの）の購入をお願いいたします。本ソフトウェアにライセンスキーを登録すると、試用期間中の機能制限が解除されます。

PowerAddress Store - ライセンスキーの販売サイト

<https://poweraddress.jp>

■Product ID について

本ソフトウェアを起動すると、製品固有の番号（Product ID）が自動的に生成されます。ライセンスキー登録の有無に関わらず、一度起動した本ソフトウェアをバックアップ目的以外に複製および配布しないでください。この番号は、アップグレードやお問い合わせの際などに必要となる場合があります。ライセンスキーとともに大切にお取り扱いください。

■データの移行について

まず、移行元の PowerAddress を起動し、バックアップ機能が標準のエクスポート機能を使って任意のレコードをエクスポートします。次に、移行先の PowerAddress を起動し、移行元の PowerAddress でエクスポートしたファイルをインポートします。詳細は以下のページを参照してください。

住所録データの移行方法

<http://poweraddress.powershift.jp/quickstart/migration>

2. 動作環境

本ソフトウェアをインストールして使用するには、最低限、以下の動作環境が必要です。最新情報は PowerAddress のホームページを参照してください。

■Windows アプリ版（ランタイム版）

- Windows 10 Pro Edition（32 ビットおよび 64 ビット）
- Windows 10 Enterprise Edition（Anniversary Update）
- Windows 8.1 Standard Edition（更新 KB2919355, KB2999226）
- Windows 8.1 Pro Edition（更新 KB2919355, KB2999226）
- Windows 7 SP1 Professional Edition（更新 KB2999226）
- Windows 7 SP1 Ultimate Edition（更新 KB2999226）

■Mac アプリ版（ランタイム版）

- macOS High Sierra 10.13
- macOS Sierra 10.12
- OS X El Capitan 10.11

■FileMaker 版

利用形態に応じた FileMaker 16 製品が必要です。

動作環境は、各 FileMaker 16 製品の技術仕様を参照してください。

3. 使用許諾契約書

本ソフトウェアをご使用になる前に、本使用許諾契約書（以下、ライセンスと
いいます）をよくお読みになって下さい。本ソフトウェアを使用したことによ
り、ライセンスならびにその内容に同意したことになります。

本ソフトウェアとは、ソフトウェア本体および関連書類、別途購入可能なライ
センスキーを含みます。

もし、ライセンスならびにその内容に同意することができない場合、本ソフト
ウェアを消去していただきますようお願いいたします。

本ライセンスは、本ソフトウェアのすべてあるいはその一部分のコピーを1部
または、購入したライセンス数の範囲内で使用できる非独占的権利を許諾する
ものであり、お客様に対して本ソフトウェアそのものを販売するものではありません。
別途定めたライセンス数は、住所を同じにする同一の建物内の家庭、
企業、団体内に限り有効です。

お客様は、本ソフトウェアを一台または購入したライセンス数と同じ台数分の
コンピュータで使用する権利を有します。複数の人が使用する環境では、コン
ピュータの台数分または使用する人数分のライセンスが必要です。

お客様は、ライセンスキー登録の有無に関わらず、本ソフトウェアをリバース
エンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルしてはなりません。その他の方
法で本ソフトウェアを人間が理解できる形式に変えたり解析してはなりませ
ん。

お客様は、本ソフトウェアをバックアップ目的以外で複製したり、修正、変
換、改造、翻訳、レンタル、リース、貸与してはなりません。また、お客様
は、本ソフトウェアもしくはその一部に基づく派生的な著作物（二次的著作
物）を作成してはなりません。ライセンスキーについても、第三者への開示、
レンタル、リース、貸与してはなりません。

お客様にライセンスされたソフトウェアは、いくつかの管理用パスワード（ユ
ーザパスワードとは異なります）により保護されています。お客様はそのパス
ワードを追加、削除したり、変更する権限がなく、パワーシフトのみがそれら
のパスワードの追加、削除、または変更する権限を有します。

（次ページに続く）

お客様は、事前にパワーシフトによる承諾を得ずに、本ライセンスのもとでのお客様の権利を第三者に移転したり譲渡することはできません。

お客様は、法律により認可される場合を除いて、本ソフトウェアを使用、輸出、再輸出してはなりません。

本ソフトウェアおよび関連書類は、単純にそのままの形態で提供されるものです。パワーシフトは、明示的であれ暗示的であれ、このソフトウェアの使用に関し、一切の保証をするものではなく、特定の目的に対してその市場性や適応性を保証するものでもありません。また、いかなる状況においても、このソフトウェアを使用することによって万が一発生した損害に対し、何ら責任を負うものではありません。

この許諾契約書の如何なる部分にも抵触した場合には、本ソフトウェアを使用する権利は自動的に消滅し、本ソフトウェアに関する全てのファイルを削除しなければなりません。たとえあとで譲渡されようとも、本ライセンス契約に定められる制限の対象となります。

本ソフトウェアはパワーシフト（ある部分については、FileMaker,Inc.）が著作権を含むすべての権利を保有しています。

4. インストール/アンインストール方法

■インストール方法

PowerAddress をダウンロードし、PowerAddress フォルダをデスクトップや書類フォルダに展開またはドラッグ&ドロップしてコピーします。

■アンインストール方法

PowerAddress フォルダを削除してください。

参考) Windows アプリ版の環境設定ファイル

Windows アプリ版のレジストリ設定は次の場所に保存されます。

`HKEY_CURRENT_USER¥Software¥FileMaker¥PowerAddress¥16.0`

Windows アプリ版の拡張子 (pa12) は `HKEY_CLASSES_ROOT` に登録されます。

参考) Mac アプリ版の環境設定ファイル

Mac アプリ版の環境設定ファイルは次の場所に保存されます。

`~/Library/Preferences/com.filemaker.client.runtime12.PowerAddress.plist`

5. 起動/終了方法

■起動方法

Windows アプリ版、Mac アプリ版：

PowerAddress フォルダ内の PowerAddress をダブルクリックします。

FileMaker 版：

PowerAddress フォルダ内の main をダブルクリックするか、FileMaker のファイルメニューなどから main を選択して開きます。

■終了方法

Windows アプリ版、Mac アプリ版：

メニュータブの [Quit] をクリックするか、ファイルメニューから [終了] を選択します。

FileMaker 版：

メニュータブの [Quit] をクリックするか、FileMaker のファイルメニューから [閉じる] を選択します。

6. 基本的な使い方

基本的な使い方をご説明します。詳細は以下のページを参照してください。

ヘルプ

<http://poweraddress.powershift.jp/help>

参考) 基本的な用語

フィールド : 姓、名、電話番号など、個々の情報を入力する欄

レコード : 一人分のフィールドの集まり、1レコードは一人分のデータ

現在のレコード : 現在選択中または表示中の1レコード

対象レコード : 検索や除外などで編成した現在表示中の複数のレコード

レイアウト : ソフトの画面

レイアウトの切り替え

アプリケーションウィンドウ内のメニュータブ、サブメニュー、ボタン、アイコンなどをクリックして切り替えます。主なレイアウトは以下のとおりです。

■リスト

複数のレコードを表示するレイアウトです。表示項目固定の8種類のリストと、個々のデータ項目を編集できる一覧表があります。

■カード

個々のレコードを表示するレイアウトです。詳しい情報の入力および表示用に3種類のレイアウトがあります。

■検索

レコード内のフィールドを横断検索するレイアウトと、3種類のカードに対応した検索レイアウトがあります。

■インポート

指定されたファイルまたはデータソースからレコードをインポート（取り込み）するレイアウトです。

■エクスポート

指定されたファイルにレコードをエクスポート（書き出し）するレイアウトです。バックアップや Mac の連絡先を更新するボタンも配置しています。

■印刷

名簿印刷、はがき／封筒／ラベルへの宛名印刷を行うレイアウトです。用紙アイコンをクリックすると、印刷の詳細レイアウトが表示されます。

■メール

電子メールを作成し、メールソフト経由での送信を行うレイアウトです。

■設定

PowerAddress の諸設定を行うレイアウトです。

レコードの基本操作について

レコードの新規追加、複製、削除など基本操作は、レイアウト上にあるボタンをクリックして行います。主な操作ボタンは以下のとおりです。

■新規

レコードを新規追加します。

■複製

現在のレコードを複製します。

■検索

カード検索レイアウトを開きます。

■削除...

現在のレコードを削除します。対象レコードを全て削除することもできます。

■対象外...

指定したレコードを対象レコードから除外（一時的に非表示）します。複数のレコードを除外する場合は、現在のレコードを起点に除外数を指定します。現在のレコード以降の全てを除外したい場合は、適当な大きな数字（1000件の対象レコードがある場合は9999など）を指定して除外します。

■対象入替

対象レコードと除外したレコード（一時的に非表示にしたレコード）を入れ替えて表示します。

■全て表示

全てのレコードを表示します。

データの入力

入力したいフィールドをクリックすると入力可能状態になります。Tab キーや return キーを押すと、次のフィールドが入力可能状態となります。

データの確定について

フィールドに入力された値は、データが確定された後に自動的に保存されます。データは、次の何れかの操作を行った時点で確定されます。

- ・ 他のレコードを選択する
- ・ 現在のフィールド以外の場所をクリックする
- ・ Windows の場合、テンキーの Enter、または Ctrl+Enter を押す
- ・ Mac の場合、enter キーを押す

住所の入力について

住所欄は、郵便番号、都道府県、市区町村、町域、番地、建物名の6つに分かれています。必ずしもこの分割方法を強要するものではありませんが、分割して入力しておけば、以下のような住所データが自動的に生成されます。

- ・ 郵便番号～建物名の連結データ
- ・ 都道府県～建物名の連結データ
- ・ 都道府県～番地の連結データ（2分割向け）
- ・ 市区町村～町域の連結データ（3分割または4分割向け）
- ・ 町域～建物名の連結データ（3分割向け）
- ・ 町域～番地の連結データ（4分割向け）
- ・ 番地～建物名等の連結データ（3分割または4分割向け）

これらのデータは、郵便番号、都道府県、市区町村、町域、番地、建物名とともに、自由に組み合わせてエクスポートすることができます。これにより、一度入力した住所データを任意の形式で再利用することができます。

住所の分割数や表示方法が異なるファイル形式（vCard、Windows アドレス帳 CSV、Yahoo!アドレスブック CSV、Google Gmail 連絡先 CSV）にエクスポートする際は、対応する項目が自動的に割り当てられます。住所の分割数を意識したり、エクスポート後に別途編集する必要はありません。

郵便番号データベースについて

カードまたは印刷画面に配置している [所属] ラベルと住所欄の [〒] マークは、郵便番号データベースの起動ボタンとして機能します。

郵便番号データベースを起動すると、対応したフィールドの内容で郵便番号データベースを検索し、候補がある場合はそのリストを表示します。

候補の中から転載データに対応したボタン（[〒]、[住所]、[事業所名]、[全て]）をクリックすると、該当するフィールドへデータが転載されます。

検索について

姓名の先頭文字で検索する「クイック検索」、データ項目を指定して検索する「カード検索」、複数のデータ項目を横断的に検索する「横断検索」の3種類の検索方法があります。

■クイック検索

リストや印刷詳細レイアウトの画面上部にある[あ]、[か]、[さ]などのボタンをクリックして検索します。姓名の先頭文字や、マークの有無、英住所の検索および除外などを素早く検索できます。姓名の先頭文字から検索する場合は、あらかじめ姓名のふりがなが設定されている必要があります。

■カード検索

データ項目を指定して検索します。リスト、カード、インポート、エクスポート、印刷レイアウトにある[検索]ボタンをクリックするか、検索レイアウトのサブメニュー（Simple、Full、Memo）から移行すると、カード検索レイアウトが表示されます。検索対象のフィールドにキーワードを入力し、enterキーか[検索実行]ボタンをクリックします。

■横断検索

複数のデータ項目を横断的に検索します。検索レイアウトのサブメニューから[横断検索]を選び、検索したいキーワードを入力すると、すべてのフィールドを対象に検索が行われます。

印刷について

名簿印刷、はがき／長封筒／洋封筒／ラベルへの宛名印刷が行えます。用紙アイコンをクリックすると、印刷の詳細レイアウトが表示されます。

現在のレコードを1件だけ印刷する場合は、スクリプトメニューから「現在のレコードのみ表示」などを実行してあらかじめ対象レコードを1件にするか、プリントダイアログで「現在のレコード」を指定します。

対象レコードを一括して印刷する場合は、プリントダイアログで「対象レコード」を指定します。

ラベル印刷時は、印刷前に表示されるレイアウトで「現在のレコード」、「対象レコード」、「現在のレコードを繰り返し印刷」の中から選択して印刷します。

電子メールの作成と送信について

メール画面を使うと、メールソフト経由でのメール送信が簡単に行えます。メールソフトの挙動設定で [ダイアログなしで実行] を OFF にしておけば、メールを送信する前に内容を確認することができます。より複雑な処理は、FileMaker 版をご利用ください。

レコードの状態表示

リスト／カード／印刷レイアウトの画面右上には、レコードの状態を示す情報が表示されています。

■番号

対象レコードの中で、現在のレコードが何番目にあるかを表示します。対象レコードをソートすると番号も変わります。

■対象

対象レコードの数を表示します。

■総数

全レコードの数を表示します。

■順序

対象レコードのソート状態を表示します。ソート名の前の記号「▲」は昇順、「▼」は降順を表しています。ソート後、レコードが新規追加または複製され、対象レコードが部分的にソートされているときは「△」や「▽」となります。

7. お問い合わせ

PowerAddress - 製品サポートサイト

<http://poweraddress.powershift.jp>

PowerAddress Store - ライセンスキーの販売サイト

<https://poweraddress.jp>

Powershift (パワーシフト)

<https://powershift.ne.jp>

Copyright © 2000-2018 Powershift All Rights Reserved.

このファイルのデータベース構造等は、上記デベロッパのみが変更できます。カスタマイズに関する情報については、上記デベロッパにお問い合わせください。このデータベースソリューションには、上記デベロッパのみが提供できるパスワードが含まれています。

Portions of this software are Copyright 1984-2018 by FileMaker, Inc. All rights reserved.